

乳液の安定性評価 ～エマルジョンの粒子径測定～



SUSCARE

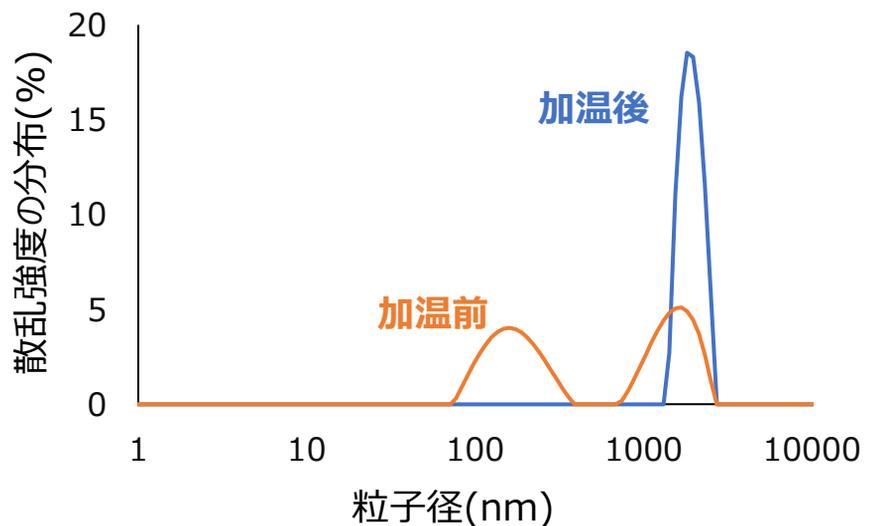
1. 測定条件

乳液製品Aの高温安定性を評価するために、60℃で5日間加温した後の乳液製品A中に分散する微粒子の粒子径を、動的光散乱法(アントンパー
ル社・Litesizer 500)により測定した。

2. 測定結果



加温後の乳液。乳液表面
に成分の分離が観察される。



3. 測定結果から得られる情報

加温前には見られた200 nm程度の粒子による散乱が、加温後には消失し、大きな粒子径のみが観察されたことから、乳液製品Aは高温環境で保管すると凝集し、品質が変化することが示唆された。

4. 試験料

お問い合わせください。

※あくまで参考価格です。試験内容によって料金は変わりますことご了承下さい。
ご不明な点等ありましたら[お問い合わせ](#)ください。